



## 劣悪な環境の千葉リハビリテーションセンターを視察

# 6人部屋で狭くトイレの仕切りはカーテン

日本共産党千葉県議団は7月27日、県立「千葉リハビリテーションセンター」を訪ね、吉永勝訓センター長から説明を受け、老朽化・狭隘化が著しい施設を視察しました。

### 障害者福祉と医療を担う重要な施設

リハビリテーションセンターは1981年の開設で、運営は千葉県が設立した社会福祉法人「千葉県身体障害者福祉事業団」が担っています。センターには、リハビリテーション医療施設(定員110人)や医療型障害児入所施設「愛育園」(定員125人・親子入園部門7組)、障害者支援



千葉リハビリテーションセンターを視察する丸山慎一(左・青い服)と吉永勝訓(右・白い服)市議団控室 ☎047-436-3030

施設「更生園」(定員56人)などが設置されていて、障害者福祉と医療を担う県内有数の施設です。

他にも、センターを訪れる人たちを対象にした「相談室」や地域との連携を進める「地域支援室」も設置され、補装具制作施設には常勤の義肢装具士が配置されています。現在、千葉県内では義肢の製作者が一人もいないとのこと。センターの役割はさらに高まっ



リハビリテーションセンターのトイレにはドアがなくカーテンで仕切られているだけになっている。

ています。

### 開設から35年で古くて狭い施設に

一方、設立してから35年もたっているため老朽化が深刻で、入所している建物は耐震基準を満たしていません。受電設備も古く、半日も停電する事態も起こっています。漏水も各所で起き、建物内の廊下に傾斜があるため車いすで転倒する事故も起きています。

こうした事態を解決するためセンターでは2010年度に建て替えを前提にした改革プランを策定。次の年にはそ



入所している人たちの居室は6人部屋で狭く手洗いもないため職員は使い捨ての手袋を使っている。

中断したままとなっています。

センターの施設はいまの時代に合わなくなっている部分がたくさん残されており、ドアがなくカーテンだけで仕切っているトイレや、居住棟が6人部屋になっていたりと、各部屋に洗面所がないので職員が入所者ごとに使い捨ての手袋を使っているなど、県立施設として極めてふさわしくない状況となっています。

### 県はセンター建て替えプラン棚上げ

ところが県は、みずからの計画に掲載したにもかかわらず、国の方針にもとづく県庁全体の公共施設統廃合計画の策定に着手したことを理由に、

こうしたなかでもセンター長を先頭に職員のみなさんほ努力を重ねていますが、それでも追いつかない構造的な問題が大きな課題となっており、設置者である県の責任が厳しく問われています。

## 国民平和大行進が船橋市内を歩きました

核兵器廃絶の願いを込めて毎年行われている国民平和大行進が7月20日、千葉県船橋市内に入りました。今年で59回目。8つの幹線コースと各地域の網の目コースで行われます。船橋市内を歩いたのは北海道から東京までの幹線コースで、5月8日に北海道の礼文島を出発し、7月13日に千葉県入りしたものです。



7・31 建設労働者後援会の集い/地域の盆踊りに参加



7・26 関根市議・飯島行雄農業委員と暗渠排水で千葉土木に要請

7・27 リハビリテーションセンター視察

7・28 県議団会議/三番瀬公金違法支出判決を活かす会の会議

7・29 津田沼革新懇の宣伝

7・26 関根市議・飯島行雄農業委員と暗渠排水で千葉土木に要請

7・27 リハビリテーションセンター視察

7・28 県議団会議/三番瀬公金違法支出判決を活かす会の会議

7・29 津田沼革新懇の宣伝

7・26 関根市議・飯島行雄農業委員と暗渠排水で千葉土木に要請

7・27 リハビリテーションセンター視察

7・28 県議団会議/三番瀬公金違法支出判決を活かす会の会議

7・29 津田沼革新懇の宣伝

### 丸山慎一県議 活動日誌

- 7・18 岩井友子市議と丸山地域ご苦労様会
- 7・19 斉藤和子衆議院議員と三番瀬連絡会などの環境省要請同席
- 7・20 国民平和大行進に参加/船橋革新懇の宣伝/9条の会千葉地方議員ネットの総会
- 7・21 県議団会議
- 7・22 日本共産党議員研修会に参加
- 7・23 古典学習会/千葉県自治体問題研究所総会で報告
- 7・24 金沢和子市議と御滝後援会のご苦労様会/市民まつり二和地区参加/関根和子市議と輪っ子の会報告会
- 7・25 日本共産党県委員会総会/斉藤議員・日本共産党市議団と千葉土建船橋習志野支部懇談会